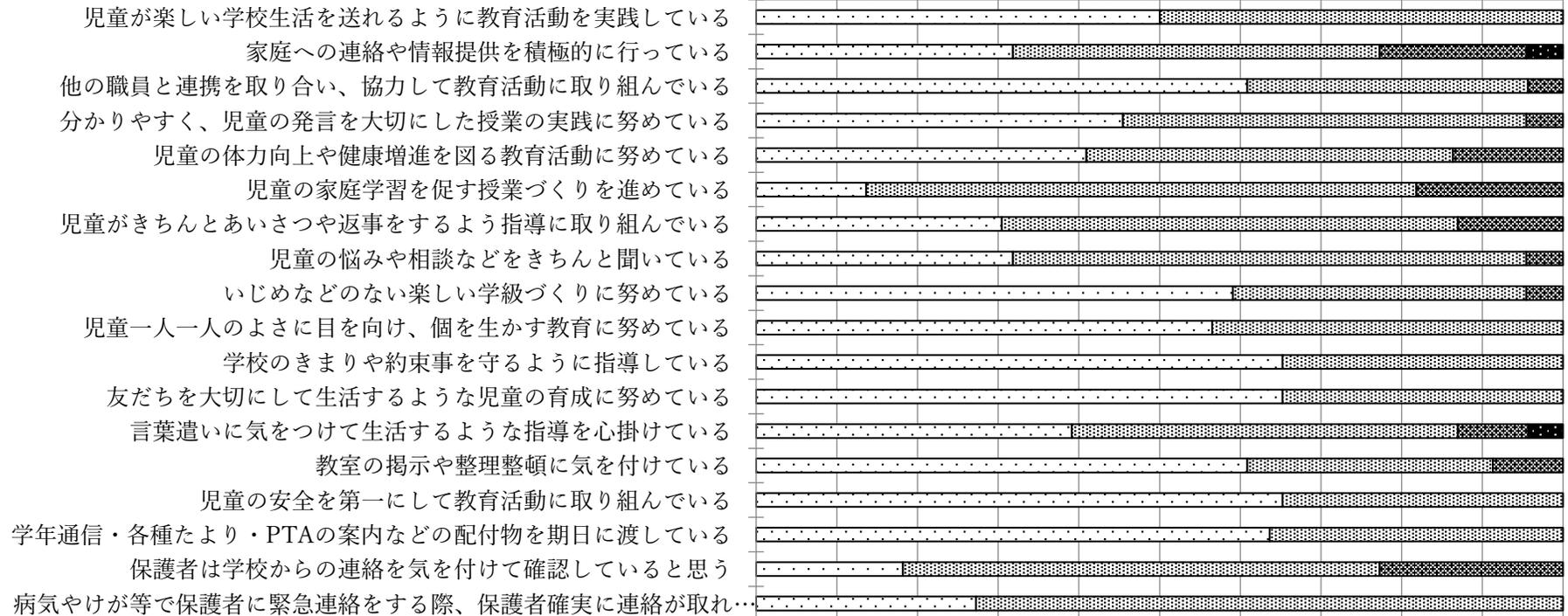


## 令和元年度学校評価 教職員アンケート

□ そう思う   ■ 少しそう思う   ▨ あまりそう思わない   ■ そう思わない

0%   10%   20%   30%   40%   50%   60%   70%   80%   90%   100%



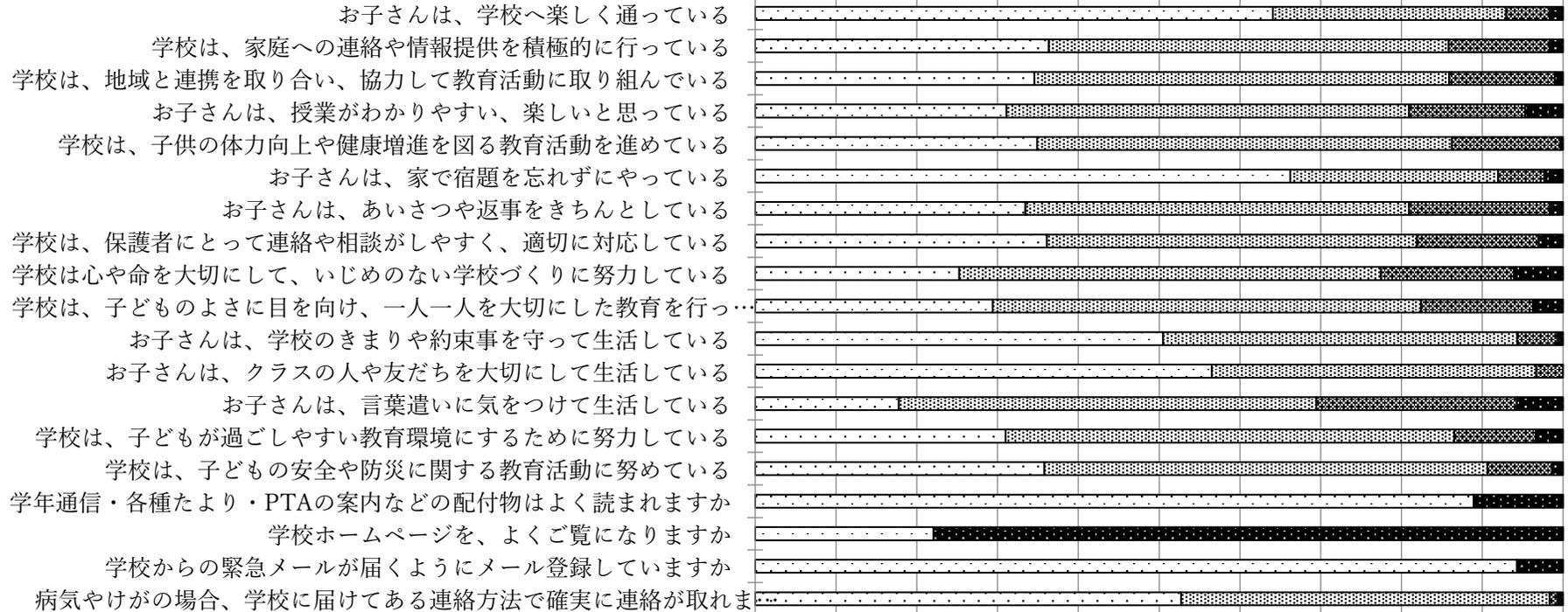
- 児童アンケートとの相関性が見られる項目として ①挨拶や返事の指導 ②言葉遣いの指導 ③児童への教育相談活動 があげられる。これらへの肯定的評価が少ない現状が見られる。具体的方針を打ち出し、全校体制で取り組む必要がある。
- 「家庭への連絡や情報提供」の媒体が月に一度発行の学年だよりとなる。今後は、学校ホームページの充実を始め、学校教育活動の風を家庭に届けることが課題となる。学校の教育活動への保護者の理解促進がやがて「家庭学習を促す授業づくり」にもつながると考える。

※ 「学年通信・各種たより～」「学校ホームページ～」「学校からの緊急メール～」の項目は「はい」「いいえ」の2選択方式

## 令和元年度学校評価 保護者アンケート

□ そう思う   ■ ややそう思う   ■ あまりそう思わない   ■ そう思う思わない   ■ わからない

0%   10%   20%   30%   40%   50%   60%   70%   80%   90%   100%

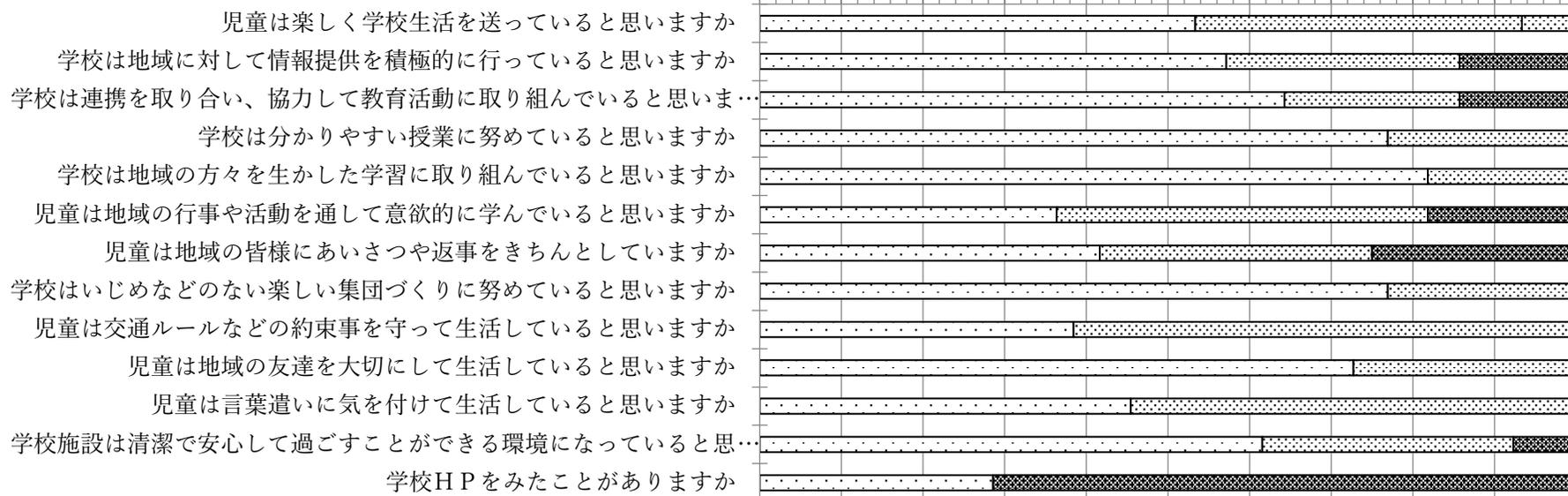


- ・ 「いじめのない学校づくり」に関して肯定する数値は、教職員>保護者である。令和元年度から取り組む「いじめ事案指導進行管理」等、学校の取組を情報提供したり、軽微な事案にも寄り添い情報共有したりして、「いじめ見逃しゼロ」の学校を目指したい。
- ・ 児童のあいさつや返事については、保護者の「している」や教職員の「指導している」に対して児童の自己評価の方が低い。児童の実態を共有した上で、連携した取組が必要である。
- ・ 児童の言葉遣いについては、教職員の「指導している」に対して保護者の肯定評価や児童の自己評価が低い。これも、児童の実態を共有した上で、連携した取組が必要である。
- ・ 学校運営協議会（コミュニティースクール）、地域学校協働本部、PTA活動等、保護者や地域と協働した活動についても情報宣伝していく必要がある。また、学校ホームページについては、活動組織の見直しから急速・強力な推進が必要であり、2月から着手している。

## 令和元年度学校評価 地域関係者アンケート

□ そう思う    ▣ 少しそう思う    ▤ あまりそう思わない    ■ そう思う思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※ 「学校ホームページ～」の項目は「はい」「いいえ」の2選択方式

### <いただいたご意見等>

- ・ 多岐にわたる取組に大変な苦労があることと思う。働き方改革を積極的に進め、ゆとりある学校経営をしてほしい。
- ・ 時代に合った教育を進めている。
- ・ 先生方の指導は十分にできていると思う。
- ・ 校外で出会う子どもたちは、こちらから声をかけると必ず返事やあいさつを返してくれる。よく指導が行き届いている。
- ・ いじめのない南小学校であってほしい。
- ・ 地域からも支援できることを考えている。学校運営協議会（コミュニティースクール）を発展させたい。

### <今後に向けて>

- ・ アンケート対象者は、今後の学校運営協議会の核となる方々である。学校評価をいただくにあたり、日頃から学校教育活動を広く知っていただく必要がある。学校ホームページの充実や学校運営協議会活動の情報宣伝等、手立てを工夫して行う必要がある。